レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式１

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	骨髄提供しやすい職場環境づくりの推進（勤労者の骨髄等移植ドナー環境づくり推進支援事業）			部（局）	保健医療部
				所管課	薬務課
				担当班	薬務指導班
				連絡先	078-362-3268
開始年度	平成29年度	終了年度	ー	関連計画等	ー
事業区分	□ 国補助事業　☑ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　□ 委託　☑ 補助　□ その他（　　）			実施主体等	兵庫県
事業目的	（公財）日本骨髄バンクのドナー登録者は全国で56万人に達し、移植を待つ患者の約96%に適合するドナーが見つかる状況であるが、ドナー登録者が健康上の理由や仕事などの都合により移植に至らないケースが多く、移植を受けられるのは、登録患者の約半数にとどまっていることを受け、骨髄等移植ドナーの確保やドナーとして骨髄提供しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む県内事業所に活動支援金を交付し、骨髄等移植の推進を図る。				
事業概要	「健康づくりチャレンジ企業」に登録されている企業・団体であって、かつ、次のステップを段階的に達成した事業者に対して、支援金を交付する。 【ステップ１】支援金額 10万円 ①骨髄等ドナー休暇制度の導入・運用 ②骨髄等提供のために休んだ場合の給与相当分を補償する仕組みの導入・運用 【ステップ２】支援金額 ２万円 骨髄移植に関する普及啓発、理解促進に資する以下の全ての社内広報の実施すること。 社内講習会の実施、チラシ又はリーフレットの配布、ポスターの掲示、社員全員に対する休暇制度創設の周知				
業務フロー	事業計画検討・作成（事業者）→交付申請（事業者）→受付・審査・交付決定（県）→事業実施（事業者）→事業実績報告・請求書提出（事業者）→交付（県）				
R5レビュー時の外部委員会意見	・本事業の利用促進にあたっては、交付要件を一度に全てではなく、段階的にクリアさせていくような制度設計も検討してはどうか。 ・職場環境を変えていくには、経営陣へのアプローチが重要である。また、経営陣へ意見ができる産業医や保健師へのアプローチを強化すべき。 ・今のアウトカム指標に加え、中間アウトカムを設定すべき。例えば、骨髄提供に不安があるかや、骨髄提供にあたって休みやすい環境にあるかなどをアンケート調査し、指標として設定できないか検討してはどうか。 ・本事業は県内企業を対象とした事業であるので、県内企業がどれだけ移植しやすい環境になったかを測定する必要がある。そのためには、県内でドナー登録した人が実際に移植に至った割合などを指標として設定できないか検討されたい。				
改善結果 （改善状況 取組過程）	・支援金の交付要件を２段階とし（①骨髄等ドナー休暇制度の導入、②骨髄移植に関する普及啓発、理解促進に資する社内広報の実施）、各段階の達成ごとに支援金を交付する制度へ変更した。その結果、問合わせ・申請件数が増加した。 ・骨髄ドナー候補者に対して休暇制度の活用状況等についてアンケート調査実施のため調整を行ったが、ドナー情報の秘匿性が高く、また、登録から提供に至るまで電子化が進んでいるため、アンケートが実施ができなかった。				

事業に要するコスト

区分		５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①		276 千円	1,310 千円	1,560 千円	1,400 千円
経費内訳	報酬・賃金				
	委託料				
	補助金・交付金	100 千円	1,260 千円	1,200 千円	1,200 千円
	貸付金				
	その他	176 千円	50 千円	360 千円	200 千円
（財源内訳）	(国庫)				
	(特定)	(276千円)	(1,310千円)	(1,560千円)	(1,400千円)
	(起債)				
	(一般財源)				
予算額② ※精算補正前の予算を記載		1,200 千円	1,560 千円	1,560 千円	1,400 千円
執行率((①/②)×100)		23.0%	84.0%	100.0%	100.0%
人件費③（a＋b＋c）		従事人員 0.10人	従事人員 0.12人	従事人員 0.12人	従事人員 0.12人
		825 千円	1,035 千円	1,079 千円	1,133 千円
	職員給与費 a	716 千円	887 千円	948 千円	985 千円
	賞与引当金繰入額 b	59 千円	75 千円	71 千円	75 千円
	退職手当引当金繰入額 c	50 千円	73 千円	60 千円	73 千円
総コスト(①＋③)		1,101 千円	2,345 千円	2,639 千円	2,533 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式１

評価	指標名	区　分	５年度実績	６年度実績	７年度見込	８年度目標	最終目標【年度】
指標	成果指標(アウトカム指標①) 兵庫県内の骨髄等ドナー休暇制度の導入企業の累積数	目　標	73	76	80	90	【年度】
		実績（見込）	68	79	(86)	(96)	
		(単位当たりコスト)	(16 千円)	(30 千円)	(31 千円)	(26 千円)	
		達成率（見込）	93.2%	103.9%	(107.5%)	(106.7%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標(アウトカム指標③)	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標①) 支援金交付件数	目　標	10	10	10	10	【年度】
		実績（見込）	1	11	(7)	(10)	
		(単位当たりコスト)	(1,101 千円)	(213 千円)	(377 千円)	(253 千円)	
		達成率（見込）	10.0%	110.0%	(70.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標③)	目　標					【年度】
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	終期設定	有（　　）・（無）					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	・骨髄提供には合計10日間程度の通院及び入院が必要となるため、休暇制度の導入が有用である。 ・段階的な支援としたことにより、支援金交付件数（ステップ1）が増加した。 ・秘匿性の問題から適切な指標の設定に苦慮している。	C：やや満足のいかない実施状況 ・骨髄等ドナー休暇制度の導入事業所数、ステップ1の支援金交付件数は増加しているが、大企業からの交付申請は少なく、また、ステップ2の交付申請が伸び悩んでおり、効率が良いとはいえない。 ・県内居住者のドナー数は増加傾向にあるが、ドナーの休みやすさが改善したか不明であるため、有効性が検証できない。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	・休暇制度の導入は進む一方で、ステップ2の、申請件数が低下しており、社内広報がどの程度実施されているかが不明である。 ・ポスターやリーフレットの送付にコストがかかる。 ・大企業からの交付申請が少ない。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：R8年度中に新たな登録方法であるスワブ登録（オンライン登録＆スワブ法によるHLA型検査）が開始されることを踏まえ、休暇制度の導入とスワブ登録を含めた社内広報を支援制度の要件とする等、支援制度の改善を行う。適切な指標の設定については、引き続き検討を行う。

外部委員会意見

・R5年度レビューで指摘された交付要件の見直しについては、段階的な支援制度への変更により、問合わせ・申請件数が増加するとともに、支援金交付件数や骨髄ドナー休暇制度導入企業数が増加しており、改善効果は認められる。
・一方で、事業の目的である「骨髄提供しやすい職場環境の整備」や「ドナーの提供機会拡大」が実現しているかを測定する成果指標は依然として十分に設定されていない。
・大企業からの交付申請が少ないことや普及啓発活動の促進にも課題が見られることから、事業効果を検証できる指標の設定と、より効果的な企業への働きかけも求められる。
・ステップ1の申請件数は増加し、ステップ2の申請件数が減少しているということは、ステップ2にボトルネックがあると考えられる。それぞれの申請件数をアウトカム指標に追加してはどうか。その上で、ステップ2のボトルネックの解消に努めてもらいたい。